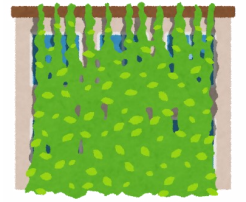


# 緑のカーテン



## の作り方 ~ゴーヤバージョン~

緑のカーテンとは、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物を、窓辺や壁面にカーテン状に育てたもののことです。日差しを和らげ、室内の温度上昇を抑えることで快適な生活ができます。楽しみながら、省エネ・地球温暖化防止に取り組んでみませんか？



### 【用意するもの】

- ①プランター ※深くて大型のもの。市は幅60×奥行27.2×高さ26.4を使用
- ②土（野菜用） ③支柱 ④ネット ⑤肥料（元肥、追肥）
- ⑥土壌改良剤（バーミキュライト、ピートモス等）

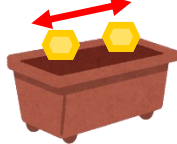


### ●種まき（5月上旬～中旬）

- ①種の端を爪切りで切る。
- ②種が半分くらい水に浸る状態にして、一晩置く。
- ③元肥を混ぜた土をプランターに入れ、約2センチの深さの穴を開け、種を植える。



15～20センチ間隔



### ●水やり、追肥（6月～9月）

- ⑦水やりは朝・夕に1回ずつ。
- ⑧肥料を追加する。（追肥）※2週間に1回程度

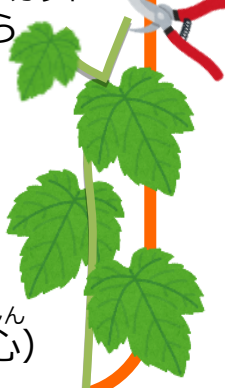


緑のカーテン 完成！

### ●誘引、摘心（6月）

- ④つるの高さが50センチを越えたら支柱を立て親づるを絡ませる。
- ⑤ネットを張る。
- ⑥本葉が10枚ぐらい出てきたら「親づる」の先端をカット！

カット！



### ●収穫（7月～9月）

- ⑨実が緑色になり、程よく固くなったら収穫！
- ⑩（種を採取する場合）実が黄色く熟したら種を取り出し、洗って乾かす。



※種の取り出し方は、裏面をご参照ください。

## ●種の取り出し方



ゴーヤの実が成ったら、次回の緑のカーテンに向けて、忘れずに種を取っておきましょう。

- 1.種を取るゴーヤは黄色く熟したものが適切です。  
(収穫前に破裂してしまったものでも大丈夫です。)



- 2.完熟して黄色くなったゴーヤの中には、赤いゼリー状の果肉に覆われた種があります。



- 3.ゼリー状の果肉を水で洗い流して、種を取り出します。



- 4.風通しの良い日陰で数日間乾かしてから、茶筒などの密閉容器に入れて、涼しく乾いたところに保管しましょう。



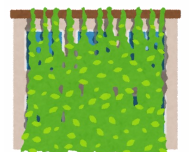
環境課では、次年度の種の配布のために、市民の皆さんの緑のカーテンから取れた種の回収を行っています。皆様のご協力をお待ちしています！

### 【回収場所】

春日市環境課窓口（春日市原町3-1-5 春日市役所3階）



## ●あなたの緑のカーテンを取材します！



環境課では皆さんが育てている緑のカーテンの取材を行っています。

取材した緑のカーテンは、環境課のSNSでご紹介します。

「うちの緑のカーテンを取材してほしい！」という方は、下記連絡先までご連絡ください。

皆様のご連絡をお待ちしております♪

実施したイベントの様子や  
市役所で育てている  
ゴーヤの生育状況、  
エコのコツなどを発信中！

### 【連絡先】

春日市 環境課 環境推進担当（春日市役所3階）

電話：092-584-1111（代） ファクス：092-584-1147

メール：kankyo@city.kasuga.fukuoka.jp



Instagram

@kasuga\_kankyo